

 ERFC Newsletter
ユーノスロードスターファンクラブ通信 2009 vol.2

ERFC 清里ミーティング告知号

清里ミーティングは11月8日開催です！

みなさんこんにちは。今年も少し涼しくなってきた、いつものように清里ミーティングのご案内をする季節になろうとしています。ところが今年はなんだか様子がちょっとだけ違って、世間では“ロードスター20周年”で盛り上がってたりしますし、清里ミーティングも20回目を迎えるわけです。すごい話です。とはいえもちろん最初の年からロードスターに乗ってる人ばかりじゃないし、清里ミーティングだって毎回来てくださってる方ばかりでもないし、20年なんて実感わかないよって方も多いかもしれません。じつはぼくも黄色い“ユーノス”に乗りはじめたのは1991年の秋だったし、清里ミーティングはたぶん18回目くらいだったりします。

なんて言い訳するわけじゃないんですけど、ってゆーか単なる言い訳で、毎年いらっしゃってる方にはもう想像がついちゃってるかもしれませんが、E.R.F.C.がクラブとして20周年を迎えたからといっても、また清里ミーティングが20回になるからといっても、たいして特別なことはやるわけじゃありません。

いや、ほとんどいつもどおりなんじゃないかな…、詳しいことはこの会報のどこか他のところに書いてあるはずですけど。

でもとにかく20周年です。清里ミーティングだけでなく、いろんなことがありました。ロードスターに乗っていろんなところに行って、いろんな人に出会い、いろんなおいしいものを（おいしくないものも）食べました。そしていろんなことが楽しくなりました。そんないろんなことをおしゃべりしましょう。芝生に並べたロードスターを眺めながら、ソフトクリームを食べながら。寒くないといいんですけどね。…なんだかやっぱりいつも通りの清里ミーティングになりそうですね。お会いするのがいまから楽しみです。



(ERFC 会長：ひでまろ)

清里ミーティングへのお誘い

そんなわけであつて今年は記念すべき第 20 回の清里ミーティングではありますが、会長のあいさつにもあるようにスタッフにそんな気負いは全くありません。いや、そうは言ってももうちょっと気負ってもいいんじゃないの？！（笑）

まあ、20 周年の盛り上がりはこの号が届く頃には思い出とか伝説(?)になっているであろう三次での公式イベントに任せるとして(こら!)、我々は例年通りに、それでもちょっとこれまでの歴史を振り返ってみるのも

ありかな?なんてことも考えています。せっかくの 20 周年なんで、参加者の皆さんもこの機会に自慢できるグッズや思い出の写真なんかを持ち寄ってくれると嬉しいですね。

みんなでのんびりとロードスターの歴史を振り返り、誕生 20 周年を祝う、そんなイベントにできればいいな、と思っています。

では、清里でお待ちしています。



(実行委員長：まめぞう)

【第 20 回 E. R. F. C. 清里ミーティング概要】

開催日 2009 年 11 月 8 日 (日曜)

時間 9:30~15:00 (雨天決行)

会場 (財)キープ協会 清泉寮

(山梨県北杜市高根町清里)

募集台数 100 台 (ゲスト・スタッフは除く)

参加資格 ロードスターを愛する人なら誰でも OK

参加費用 お一人様 ¥5,000 (18 歳以上の同伴者も同額です)

金額にはお弁当代と寄付金を含みます

当日会場にてお支払いください。

なお、18 歳未満の同伴者でお弁当が必要な場合はご相談ください。



このイベントを開催するにあたり、毎年多大なご協力をいただいていますキープ協会は、創設者の故ポール・ラッシュ博士の想いを引き継ぎ、環境問題や国際教育などに力を注がれている団体です。

E.R.F.C.は、この趣旨に賛同すると共に、会場となります清泉寮とその周辺、さらにはキープ協会がこれまで守られてきた美しい八ヶ岳の風景をも「お借りしている」と考えています。そのため、「施設使用料」の代わりとして、参加費の中からイベント運営費とは別に、お一人様につき 1000 円を寄付させていただいております。

またご同乗者の方も参加者として運転手の方と同じ扱いとさせていただいておりますので、参加費も同額としております。どうかご理解の程お願いいたします。

【申し込み方法】

○ 申し込み方法は次の二通りの方法があります。どちらかご都合の良い方をお選びください。

1. e-mail による申込み

#『車1台につきメール一通』でお申込みください。

メールの題名の先頭に「清里申込み」と入れてください。

メールの本文に以下のすべての内容を記載してください。

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号（申込み内容の確認をすることがあります）
- ◆ お名前
- ◆ 乗ってくる車の型式（NA / NB / NC）（ロードスター以外の方は車名）
- ◆ ナンバー
- ◆ 大人の参加者数
 - ◇ 18歳未満の参加者数（お弁当が必要であればその旨もお願いします。）

応募の宛て先 : info@erfc.sakura.ne.jp

2. ハガキによる申込み

#『車1台につきハガキ一通』でお申込みください。

ハガキに以下のすべての内容を記載してください。

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号（申込み内容の確認をすることがあります）
- ◆ お名前
- ◆ 乗ってくる車の型式（NA / NB / NC）（ロードスター以外の方は車名）
- ◆ ナンバー
- ◆ 大人の参加者数
 - ◇ 18歳未満の参加者数（お弁当が必要であればその旨もお願いします。）

応募の宛て先

〒362-0071 埼玉県上尾市井戸木 4-22-22 角山方 E.R.F.C. 事務局

○締め切り

ハガキ、e-mail とも 10/30(金) 事務局必着です。

ただし申込み台数が 100 台を超えた場合はそれより前に締切る場合があります。

○受付の確認

11/3(火)までに受付確認用の資料を郵送します。もしそれを過ぎても連絡の無い場合はハガキまたはメールでお問い合わせください。

また残念ながら受付をお断りする場合は必ずこちらからご連絡します。

○注意

締め切りをお守りください。

申込み内容や申込み方法に不備がある場合、無効になる場合があります。

ご不明な点やご質問は、ハガキまたはメールで事務局までお願い致します。

なお、本応募要綱等は ERFC のホームページ (<http://erfc.sakura.ne.jp/>) でも見ることができます。

ではスタッフ一同、皆様のご参加をお待ちしております。

まあ そういうわけで、ロードスターが誕生 20 周年なら、清里も第 20 回。車にもイベントにもいろいろな思いが詰まっています。ってことで、今回のお題(?)は「20 回・20 年」
スタッフたちにいつものように徒然なる想いを語ってもらいました。

『20 周年（20 回目？）がやってきた！』

記念サイトやら、限定車やら、雑誌やら、あちこちのサイトやらで、俄かに 20 周年を取り巻くあれこれ
が賑やかになった感じを受けているのはワタシだけでしょうか？

さて・・・

1989 年に我がロードスターが生まれたその翌年、NAVI 誌の企画ページ「EunosRoadsterFanClub 通信」
が怪人サカモトマサル氏と NAVI 編集部（そしてマツダの広報？）の手によりはじまりました。そう、我
が E. R. F. C. が（相当あぶなっかしく）立ち上がってからもうすぐ 20 年・・・

誌上で募った会員は当初 100 人限定だったはずが、わずか 3 日で応募が 100 人を越えたところから全てが
回転し始めた・・・そんな気がします。

毎号、会員非会員問わず各地のオーナーの様子などを取り上げたページが楽しみでしたが、待望のユーザ
ー参加型企画として「ブレックファーストミーティング」と銘打った最初の清里ミーティングが開催され
たのが 1990 年の秋のことでした。

その後は、会場こそキープ協会の敷地の中で何度か変更されましたが、毎年秋（もしくは初冬）の一日を
国内有数の観光地である清泉寮で過ごすのも、今年で数えること 20 回目・・・

流石に長いなあ。歳を取るわけです。（このフレーズ、毎年書いている気がします。）



第 6 回 (1995) のケネディグラウンド

いろんなことがありました。

当初は大きなミーティングがまだ少なかったことも
あり、（妄想込みで）300 台近くのロードスターが清里
に集結しました。

その行き帰り、清里周辺だけではなく中央道なんかで
も偶然数台のロードスターが列を成すなんてことがあ
りましたね。ツーリングとはちょっと趣の違う、同じク
ルマを連ねる楽しさを感じたことを思い出します。。

信号待ちの横断歩道に小学生が通りがかったタイミ
ングで、ヘッドランプをポップアップすると、みな驚い
て、そしてそれから実にうれしそうに笑顔を見せてくれ
たのも、清里へ向かう道だったと思います。

いろんなことがありました。

最初の清里ミーティングのこと。イベントの開始時間は
当然告知されていたのですが、会場をオープンする時間は
決まっていませんでした。しかもイベントのキャッチが「清
里で朝食を」だった・・・そりゃあ到着時刻が読みにくい
遠来の方の中には、夜中に到着しちゃう人もいますよね。
結局、スタッフが交代で徹夜して来訪者をお待ちするこ
とになったのです。

清里の深夜、満天の星の下・・・もちろん、すっごく寒
かったのですが、はっきり見える天の川といくつかの流れ
星を見たことを覚えています。



第 8 回 (1997) 自慢ツアー後に M L メンバーと



第 15 回 (2004) の駐車場風景

いろんなことがありました。

秋の晴天から天候が一変し、ちらほら雪が舞い始めて、片っ端から幌をしめて廻ったこと。

メガホン片手に一声発したら、フツの観光客の方が集まってきたこと。

ERFC の方ですよね？と聞かれて振り返ったら、何故かサインを求められたこと。

いろんなことがありました。

そして、これからも、いろんなことがあるのでしょう。

それが、ERFC とか清里ミーティングとか名乗っているかはわかりませんが、でもきっと、我らがロードスターと共に、これからもその一つ一つを重ねていくのでしょう。

全てはロードスターと共に・・・なあって気張ることなく、ゆるゆるとろどすたライフを続けて行けていきたいものです。

清里で皆さんにお会いできることを楽しみにしております。では、アディオス！

(つのやま)

『思い出は走馬灯よりも早く?!』

清里ミーティング皆勤賞 3 号の受付担当・つのやま@にします。(1 号と 2 号は誰でしょう?)

年に一度のお楽しみ(お騒がせ?) 清里ミーティングも、今年でついに 20 回目を迎えます。記憶の中で、最初のミーティングから今までの思い出が走馬灯のように・・・お、おや? 走馬灯の回転が、回転が速すぎてよく見えませんー!

・・・えー、まあともかくですね、記念の年だからといってあまり気負わずに、今年もいつも通り、ERFC らしくのんびりとやりたいなと思っております。できるだけ寒くなく、できるだけ快晴であることを願って、11 月 8 日に清里でお会いいたしましょう。



第 11 回 (1999) の第 4 駐車場

(つのやま@にし)

『スワミは何回目?』

清里ミーティングでスワップミートが始まったのは、まだ開催数回目で、場所もケネディグラウンド。一般観光客からは隔離された森の中。まずは、石拾いや、ヤスデの掃除から会場準備を始める必要があったころのことです。

ユーノスと言えばロードスターそのものを意味しておりました。そんな昔から地味ながら、ずっと続いているのも、参加者の皆さんのご協力とご期待によるものです。さて、皆さん、家のどこかにしまいこんでいるユーノスグッズはありませんか? カタログやチラシひとつでも、20 年も経つと、骨董的価値が出てきます。今から、探しておいてくださいね。



ケネディグラウンド時代のスワミ

(スワップ担当)

『「愛」を兜じゃない、ロードスターのボンネットに掲げて (うそです)』

毎度おなじみなん展（なんでも展覧会）です。気がつけばもう何回目でしたっけ（汗）。以前はなんコン（なんでもコンテスト）でしたが、「別に順位をつけなくてもいいんじゃない？」という意見が出て、投票方式のコンテストから展覧会形式になりました。要はどれだけロードスターを愛しているかということ、モノやカタチで見せてもらおうというのが趣旨です。思い出の写真一枚、部品、グッズ、自作の品々。毎回毎回、オーナーの気合が注入された品々が出てくるので、ゲスト、スタッフを始め参加者の皆様も驚くことしかりです。

ですが〜どうもここ数回は常連組が毎年の作品を公開する場になりかけています。それが悪いなんて言いませんよ。このイベントを愛して？いる皆様が出展してくださるのですから。

しかし〜やっぱり色々な人が色々な形でロードスターへの愛をカタチにしてこそ、披露して嬉しいといえるものだと思うのです。今回清里ミーティングも20回目。このときを逃す手はありません。参加者の皆さんで、色々な形のロードスターへの愛を見せてくださいね。お待ちしております。

追伸：常連組の人は複数出展で心意気を見せてね。

（尾張屋）

「20年、20回」

ロードスターが今年、20歳。成人式を迎えました。

そして、清里ミーティングも20回目。

ロードスターにとっても、オーナーの皆様にとっても特別な節目の年です。「20年」と言葉にすると一言ですが、実際には幸せな瞬間をたくさん積み重ねた、ずっしりとした時間でもありましょう。

今年の清里ミーティングでは、すっかり忘れていたような思い出や誰かに話したい特別な出来事などなど、20年分の楽しいロードスター話しに花が咲く事と思われます。

今年も心をこめたお弁当と温かいお茶を用意して、皆様とお会いできることを楽しみに清里でお待ちしております。

（さっちゃん）



第3回(1992)のケネディグラウンド（旧メイン会場）

『清里ミーティング思い出話』引き続き募集中！

そんなわけで、ERFCでは今年で20回を迎える清里ミーティングの思い出を引き続き募集しております。

「清里での出会いが運のつき・・・」とか「清里で手に入れた〇〇のおかげで・・・」とか、皆さんがお持ちのそんな面白い、心温まる、トホホな、驚きの、全米が泣いた(おい)、そんなエピソードをこの機会に教えてください。

原稿は郵便でもメールでも受け付けます。事務局あてにお送りください。もし写真等もありましたら是非！

いただいた原稿は本ニュースレター(WEB版含む)またはミーティング印刷物等で使用させていただきます。匿名・ハンドルネーム等希望の際はその旨明記してください。なお文字数は指定しませんが、使用の際は部分的に編集させていただくことがありますことをご了承ください。また、写真は焼き増ししたものもしくはデータでお送りください。

「レディース通信」

ここまでにさんざん書かれているとは思いますが、清里ミーティングもついに 20 回目。その全てに参加してきて、いろいろと得難い経験をさせてもらった。イベントそのものはもちろんだが、ここでは、スタッフならではの・・・というウラ話を少々。

まだ初期の頃、ミーティングで出す昼食を現地で作っていたことがあった。会場が今の清泉寮メインホールではなくキャンプ場の集会場で、そこに厨房があったことから、外部に委託して（といってもスタッフの知人）作っていただいていたのだ。シェフの腕は上等、そして寒い時期にあつあつの昼食。とても評判が良かったのを覚えている。

そうはいっても参加者とスタッフ全員分、合わせて優に 100 人以上を作らねばならないため、仕込みは毎回ほぼ徹夜。もちろん、外部の方だけにそんな苦行を強いておいて知らん顔できるわけもなく、よくお手伝いしたものだ。しんと冷え込んだ静謐な高原の晩秋、星降る夜にひたすらネギを刻む女（やや酒気帯び）。傍から見ればなんだか怖い光景だが、無事にネギだけを切らねばととっても真剣だったワタシ。だが翌日、味噌汁の中に見つけたネギはところどころつながったままで、じっと手を見て深く反省したのだった。

スタッフが前日から泊まりこんで準備するのは今も昔もお約束だが、昔は宿泊場所も違って、山小屋（？）のようなところだった。お風呂が別棟になっていて、湯冷めを心配したものだ。ところでこのお風呂、場所柄のせいか大変に野性味が豊富だった。造りそのものはごく普通で、大人が 6、7 人が一緒に入れるくらいの大きさなのだが、ヒト以外のモノまで入浴しにくるのである。温度と湿度につられるのか、コオロギのような昆虫が浴室のあちこちに・・・虫が苦手な人たちはそれを見ただけでお風呂をキャンセルしたが、ワタシは平気な方なのでとりあえずチャレンジ。最初はいちいち退治していたが、なにしろ数が多くてキリがない。そのうち面倒になってしまい、最終的には「混浴」に・・・ワタシのアウトドア度は、清里ミーティングのおかげで確実にレベルアップしていったのだった。（より大雑把になったとも言う）



第 13 回 (2002) の駐車場風景



まあ、毎年夜はこんな風景・・・

ミーティング終了後は、片づけを終えるとほとんどのスタッフがその日のうちに帰路につくが、翌日の日程に余裕がある者はその夜も清里で過ごす。ささやかな打ち上げを行うが、少人数の上、全員くたくたなのでまるで盛り上がらない。グラスを手にしたまま居眠りを始める者、言いかけたことが何だか途中で忘れてしまう者・・・昼間の姿がウソのような惨状である。

ある年のこと、スタッフの一人がうっかり手を滑らせて湯のみを割ってしまった。たったそれだけのことなのに、疲労がピークに達していた我々は火がついたような大爆笑！しかも毒キノコでも食べたかのように、全員笑いがやめられない止まらない。しまいには何で笑っているのかわからなくなって、そのことをまた笑うといういたらく。人間、疲れすぎると色々エライことになると思ったのもこの清里だった。

そんな風に、イベントの裏側でも毎年いろいろなことを積み上げてきた清里ミーティング。今年は何が起こるのか？と煽りたいところだが、年々無理がきかなくなってきた、最近は逆に平穏無事だ。そのことをちょっと寂しく思うのは、大人になったせいなのか往生際が悪いのか、判断つきかねるこの頃である。

（つのやま@にし）

「5 分間の逢瀬から ～気づけばとうとう 20 年～」

まだ 20 世紀で昭和が終わろうとしていた頃。オープンカーにあこがれながら、当時はオープンカーと言えば新車では高級車と一部のカブリオレ。手頃なサイズでスポーツカーと言えば国産も外車も年季の入った中古しかなかったそんな時代。

昭和が終わったのと合わせるように自動車雑誌をにぎわせ始めた一台のライトウェイトオープンスポーツ。それがマツダの『MX-5 ミアータ』だった。これまで各社からコンセプトカーとしてそれっぽい車が出てきたこともあったけれど、所詮はコンセプトカー。実際に発売に至ることはほとんどなかったが、今回はどうも本当に発売されるらしい、それも実際に購入できそうな価格だ、と。

それから日々自動車雑誌で情報を漁る日々。予測記事にワクワクし、先行発売されたアメリカでの試乗記を読んでは自分で運転したような気になり・・・あ、当時の私は免許こそ持っていたものの、親の車をたまに運転するだけで、自分の車は持っていなかったわけだが。(苦笑)

89 年 7 月。ついに日本での販売が正式発表される。『ユーノス・ロードスター』それが待ちに待っていた車の名前だった。販売に先立ち、異例の予約会開催が新聞紙上で告知され、もちろん速攻で申し込む。

発表と同時に全国の駅前や繁華街などで実車のお披露目が行われた。愛知では名古屋駅前。名古屋駅は通勤路上にあるが、自分の職場は名古屋の外れ。定時で仕事を追えて現地へ向かうと 17 時 55 分には到着した。しかし、ロードスターの展示時間は 18 時まで。駆けつけるとそこにあるのはイメージカラーとなるクラシックレッドのマシン。展示期間の 1 週間。ほぼ連日、展示場所に通っては 5 分間だけ展示車を眺め、18 時に自走して去っていくその後姿を見送りながら、私は購入の意志をさらに固めていった。

8 月の予約会。名古屋では国際展示場のホール半分が会場に充てられ、事前の申込者に対して 9 月にオープンする県内では 4 店舗しかないユーノス店への割り振りが当日先着順で決められていった。こちらに店の選択権はなく、自分の割り当てられた店も 25km 離れた名古屋市内の店。もっともその当時、それ以上近い店舗はなかったわけだが。

その日、会場には受付開始時間の少し前に付いたのだが、混乱を避けるためか、そもそもまだ量産試作段階で台数が確保できていなかったからか、その会場内でも実車に触れる機会はほとんどなく、予約受付の順番が来る直前にほんのちょっとだけ見る事ができる、そんな感じだった。当日は徹夜組も居たと言うことで納車予定日は翌年 2 月と告げられたがもちろんそれまで待つつもりだったので、仮契約してきた。予約金は 5 万だったか 10 万だったか・・・

結局、国内外でのあまりの人気にマツダが生産計画を倍にしてくれたおかげで発売開始から 2 ヶ月後の 10 月終わりに納車された。

ERFC の存在を知るのはその 1 年後。清里に参加するのはさらにもう一年先のことになる・・・。



第 6 回 (1995) の集合写真

その時、まさか自分がこのイベントの主催者側に回るなど思いもよらなかったが、気がつけば一台のロードスターに乗り続けてもうすぐ 20 年。今ではこの車を手放すことが想像できなくなっている・・・。

(まめぞう)

編集後記

さて、本文でも触れたようにこの号が皆さんのお手元に届く頃には三次での 20 周年ミーティングも無事に終了しているはずです。もちろん私も参加してきます。今回は 10 周年以上の台数が集まるようで、相当に盛り上がりそうで、この原稿を書いている今から楽しみです。

一方で、みんなが繰り返し書いているように清里ミーティングはいつも通りです。ロードスターってキーワードだけで集まれていつもの皆さんといつものように顔を合わせて同じ時を過ごす。そんなイベントが一年にひとつくらいあってもいいんじゃないですか。みんなでゆる～くロードスターの誕生 20 周年をともに祝えればと思っています。ではみなさん。清里でお会いしましょう。

(ERFC 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



ERFC Newsletter
ユーノスロードスターファンクラブ通信

2009 Vol.2

2009 年 9 月 20 日 発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局：埼玉県上尾市井戸木 4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp